



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10106513 A**(43) Date of publication of application: **24.04.98**

(51) Int. Cl.

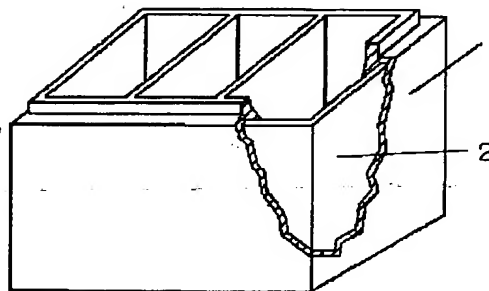
H01M 2/02(21) Application number: **08260394**(22) Date of filing: **01.10.96**(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**(72) Inventor: **KUREMATSU MICHIO****(54) SEALED LEAD-ACID BATTERY****(57) Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To restrict the evaporation of moisture from a battery jar, and to improve the strength of the battery jar so as to improve the lifetime characteristic by integrally forming a metal plate with a peripheral wall of a battery jar, which is made of the synthetic resin and which houses an electrode group having a positive electrode, a negative electrode and a separator.

SOLUTION: A peripheral wall of a battery jar 1 made of resin is integrally formed with a metal plate 2, of which four sides are continued so as to be formed into a square, in the condition that the peripheral wall is perfectly covered with the resin. The metal plate 2 prevents the evaporation of moisture in the electrolyte from the resin battery jar 1 into the open air through the resin so as to restrain the concentration of the electrolyte, and while improves the strength of the resin battery jar 1 so as to prevent the generation of deformation or breakdown of the resin battery jar 1 due to the pressure of the electrode group to be generated by increase of the charging current. With this structure, lifetime characteristic is improved in

comparison with a resin battery jar, which does not have a metal plate 2.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-106513

(43) 公開日 平成10年(1998) 4月24日

(51) Int.Cl.⁸

H 0 1 M 2/02

識別記号

F I

H 0 1 M 2/02

B

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-260394

(22) 出願日 平成8年(1996)10月1日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 梅松 道男

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54) 【発明の名称】 密閉形鉛蓄電池

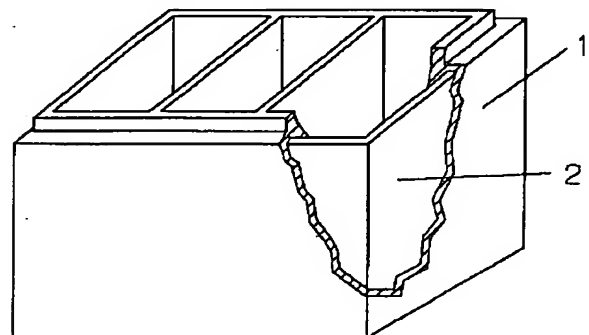
(57) 【要約】

【課題】 寿命特性を向上させるため強度が高く、水分透過を抑制する電槽を有する密閉形鉛蓄電池を供給する。

【解決手段】 正極板、負極板およびセパレータから構成された極板群を備え、この極板群を収納する樹脂製の電槽および中蓋、上蓋から構成された密閉形鉛蓄電池であって、樹脂電槽1の外周に金属板2を合成樹脂中に一体化する構造により、電槽強度を向上させるとともに水分の透過蒸発を抑制する。

1 樹脂電槽

2 金属板



【特許請求の範囲】

【請求項1】 正極板、負極板およびセパレータを有する極板群を備え、前記極板群を収納する合成樹脂製の電槽および蓋体を有する密閉形鉛蓄電池において、前記電槽の周囲壁中に金属板を一体成形して存在させたことを特徴とする密閉形鉛蓄電池。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、密閉形鉛蓄電池の電槽に関するものである。

【0002】

【従来の技術】コンピュータ等の発達につれ、その停電時のバックアップ電源としての無停電電源装置（以下UPSと言う）の設置の必要性が広く認識され、UPSは年々増加する傾向にある。このようなUPSに用いる電池としては小形、軽量、メンテナンスフリー化をはじめ、安全性を含めた信頼性に重点が置かれているために、このUPSに用いる密閉形鉛蓄電池において、それらに対する改善が求められている。

【0003】特に密閉形鉛蓄電池は図4にその構成を示したように、樹脂で成形されているため、UPSの設置場所として電源回路の上部や発熱体の近くに置かれることもあり、その結果、電槽材質を通過して電解液中の水分が蒸発することによる極板劣化が促進され電池寿命は短縮されてしまう。また、長期間使用する場合、環境温度や充電器との不適合によっては極板群圧を一定に保持することが困難であった。さらに使用中に活物質が膨張し極板の厚みが増加するにつれ、極板構成枚数の多い電池においては、電槽がその力を抑制できず割れが発生し、電解液の希硫酸がにじみ出てきて機器に損傷を与えることがある。

【0004】しかし、特開平4-155746号公報に示すように、アルミニウム等をラミネートした遮熱板を電槽外壁に設けたり、合成樹脂で強度を保持したりして電槽肉厚を増加させることは適時採用されていて、また、特開平3-81951号公報に示すように、電槽膨れを防止させるために電槽短側面に金属または高鋼性樹脂材よりなる棒状体を配置させたりしていたが、この両者を十分に満足させる結果には至っていなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】このためUPSに用いる密閉形鉛蓄電池は、特に設置場所や充電器との不適合が生じることで充電電流の増加による熱の発生で温度の影響を受け、合成樹脂の電槽では変形を生じやすく極板群圧を一定に保つことができない。その結果、寿命特性が早期に劣化したり、電槽の破損に至ることもあった。

【0006】さらにメンテナンスフリーの電池であるから長期にわたり使用すると電解液中の水分が電槽材質を通過し大気中に散逸してしまい、電解液濃度が上昇することで寿命劣化をさらに促進させる傾向があり、温度の

影響を受けるとさらにこの劣化が促進される。

【0007】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために本発明では、正極板、負極板およびセパレータを有する極板群を収納する合成樹脂製の電槽の周囲壁に金属板を一体成形することにより電槽からの水分の蒸発を抑制し、電槽の強度を向上させている。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明は、請求項1記載に係る発明のように、正極板、負極板およびセパレータを有する極板群を収納する合成樹脂製の電槽および蓋体を有する密閉形鉛蓄電池において、前記電槽の周囲壁中に金属板を一体成形して存在させることにより実施することができる。

【0009】そして金属板の存在により合成樹脂製の電槽は水分の蒸発を抑制し変形したり割れが発生することが少なく、寿命特性の良いものである。

【0010】なお、金属板を電槽中に一体成形するには、特別の手段を講じることなく電槽を金型で成形する際に金属板を埋め込む等の手段により容易に実施することができる。

【0011】

【実施例】本発明は、図1に示した電槽の構造により樹脂電槽1の材料としては、射出成形が可能な樹脂であれば良く、ポリプロピレン樹脂やABS樹脂等の熱可塑性合成樹脂を用いる。樹脂電槽1の樹脂と一体成形される金属板2としては、特に制限はなく、鉄、アルミニウム、銅、ニッケル等を使用することができるが、鉛蓄電池の電解液が希硫酸であるため樹脂で完全に被覆された状態でなければならない。

【0012】また、樹脂電槽1の樹脂と一体成形される金属板2の厚さは電池の形状、大きさ等により任意に選択できるが、合成樹脂と一体成形するために図2の四辺が連続した金属板2が自立できる強度を有することが前提である。

【0013】一体成形するためには電槽成形金型の中に四辺が方形に連続した金属板2を配置すると良い。図3は金属板2と成形金型3の斜視断面構造を示す。次に成形金型3を締めた後に方形の金属板2の上部と下部を挟み込むように金属板2の左右の予備の断面積の小さい射出口4から樹脂を少量射出させ、次いで先の樹脂が完全に固化しない状態において連続して他の大きい射出口5から大量の樹脂を射出する。予備の断面積の小さい射出口4から少量射出した樹脂は方形に連続した金属板2の成形金型3内の位置決めを事前に行うもので、次に射出される樹脂が成形金型3の空間部6を充填して、樹脂電槽1全体を成形する際に金属板2の表裏に確実に樹脂を配置させるために行う位置決め工程である。上記のように成形することで金属板2を樹脂電槽1中に配した電槽を得ることができる。

【0014】以下、公称電圧6Vで20時間率容量が6.5Ahの密閉形鉛蓄電池を用いて本発明の特性を説明する。ただし、電池の内容積は全て57cc/セルでセル幅は28mmで統一させた。電槽として図1に示されたような電槽外壁の部分は鋼板で厚さ1.0mmの表裏を、厚さ0.5mmのABS樹脂で挟み込んだ形で、一体成形した際の外壁部分の厚みは2.0mmになるものを用いた。極板としては鉛-カルシウム-錫合金製の格子による極板を用い、極板寸法は幅41.5mm、高さ64mmで、厚みは正極が3.5mm、負極が2.0mm、ガラス繊維セパレータは2.0mmを用い、正極3枚、負極4枚で極板群を構成した。各々のセル内に極板群を挿入した後、常法によりセル間接続を行い、電槽と中蓋を熱硬化性樹脂を用いて接着一体化した。

【0015】次に中蓋に設けられた安全弁から、比重1.235の希硫酸を15cc注入し、キャップ状の安全弁を取り付けた後、安全弁の上に上蓋を載せ中蓋に組み合わせ超音波により溶着させた。この電池に600mAの定電流にて20時間充電を行い、電池を作成した。

【0016】比較として0.8mm、0.5mm、0.3mmの鋼板を用いて、同様に電槽外壁は2.0mmと同一になるようにして作成した電槽を用いて電池を構成した。さらに金属板を使用しない従来の樹脂のみで成形して、電槽外壁が2.0mmとなる電池もあわせて作成した。

*

	本発明				従来
金属板の厚さ (mm)	1.0	0.8	0.5	0.3	未使用
電槽の膨らみ (mm)	0.8	1.0	1.2	1.8	3.8
電槽の割れ発生数 (個)	0	0	0	0	2
60℃トリクル寿命 (月)	6.5	5.8	5.8	5.5	4.5
電池重量の減少 (g)	5.8	6.2	6.2	5.8	12.3

【0022】

【発明の効果】以上詳述したように本発明の構成によれば、電槽外壁に金属板を挟む構成でその電槽が金属板と樹脂が一体成形されたものを用いることにより、電槽変形あるいは割れの発生を防止でき、寿命特性を改善した密閉形鉛蓄電池を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例に用いた電池の電槽の要部切欠斜視図

【図2】同四辺が連続した金属板の斜視図

* 【0017】以上の各5種類の電池を各々6個作成して、60℃の環境下において6.9Vの定電圧にて連続的に充電を行った。この時に電槽割れを加速的に評価するため、電池表面に深さ0.3mmの切り込みを横方向に入れた。この電池を雰囲気温度は25℃で3週間毎に1.6Aの定電流で5.25Vまで電圧が低下するまで放電し、その放電持続時間を測定した。この放電持続時間が初期状態の50%になる時間をその電池の寿命とした。またこれらの電池の短側面方向の厚さを初期の状態と比較した。

【0018】以上の結果を表1に示した。電槽割れは鋼板を一体化した電池では発生しなかったが、従来の樹脂電槽のみでは発生した。また、60℃トリクル寿命試験結果では金属板の厚みは大きい方が良好であり、極板群への加圧力を保持できていたのが結果に反映していた。しかし従来例では4.5ヵ月で寿命に至っている。

【0019】さらに、金属板の存在により外部への水分透過が抑制され電池重量の減少も少なく、電解液濃度が増加することなく極板に対して寿命特性が良好であったと推測できる。

【0020】なお、ここでは鋼板を用いて説明したが他の金属板を用いても同様な効果を有することができる。

【0021】

【表1】

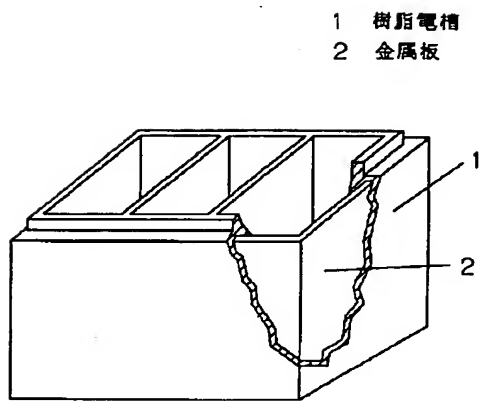
【図3】同金属板と成形金型との断面斜視図

【図4】従来の電池の電槽の要部切欠斜視図

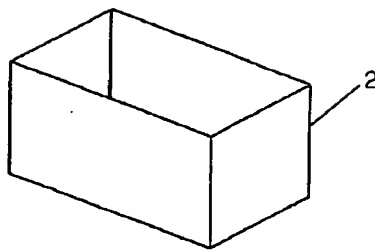
【符号の説明】

- 1 樹脂電槽
- 2 金属板
- 3 成形金型
- 4 小さい射出口
- 5 大きい射出口
- 6 空間部

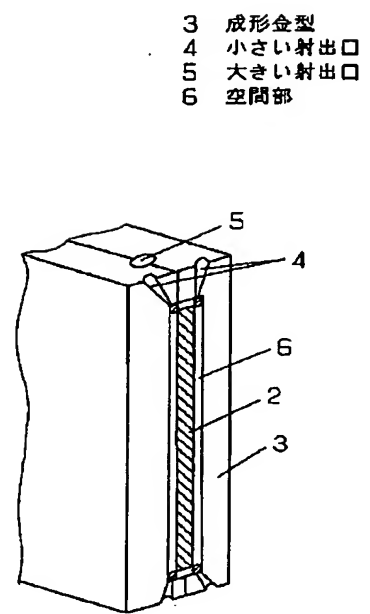
【図1】



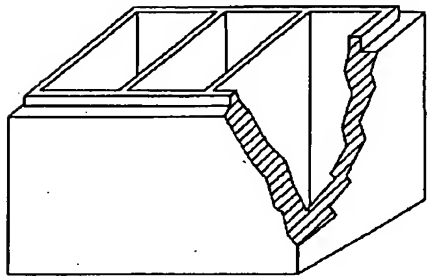
【図2】



【図3】



【図4】





PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **05021045 A**(43) Date of publication of application: **29.01.93**

(51) Int. Cl.

H01M 2/02(21) Application number: **03192494**(22) Date of filing: **05.07.91**(71) Applicant: **JAPAN STORAGE BATTERY CO LTD**(72) Inventor: **MURATA TOSHIO****(54) SEALED BATTERY****(57) Abstract:**

PURPOSE: To suppress a self discharge when a battery being left in a charged state by providing a non-porous metal layer on a surface of a battery container made of a synthetic resin.

CONSTITUTION: A closed type battery comprises a battery container A made of a synthetic resin, a non-porous metal layer B, a metal hydride electrode C, a separator D, and a nickel hydroxide electrode E. In the sealed battery of this constitution, the non-porous metal layer B is provided on the external or internal surface of the battery container A made of a synthetic resin. Thereby, hydrogens permeating the battery container A made of a synthetic resin are blocked by the metal layer B, the hydrogen penetration speed of which being small. As the result, the self discharging speed of a negative electrode accompanying hydrogen generation, is decreased.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

